社会資本総合整備計画事後評価シート

1.計画の名称	宇美町における快適な生活環境の推進
2.実施主体名称	福岡県　宇美町
3.計画の期間	平成 25 年度から平成 29 年度（5 年間）
4.計画の目標	下水道の整備を実施することにより、生活環境の改善、公共用水域の水質保全を図り衛生的で快適な暮らしを確保する。
5.計画の成果目標（定量的指標）	公共下水道人口普及率（処理区域内人口/行政人口） 平成 29 年度末　90.3%

6.社会資本整備総合交付金を充てた要素事業の進捗状況

①宇美町公共下水道枝線整備（平成 25~29 年度実施）

施工年度	名称	概要
H25	貴船三丁目(1-2)下水道築造工事	Φ200 ㎜　L=286.9m　Φ150 ㎜　L=52.1m Φ75 ㎜　L=125.1m（圧送管） 汚水桝 23 箇所　人孔 14 箇所
H25	貴船三丁目(2)下水道実施設計業務委託	開削工法　L=725m　A=5.37ha
H26	畑江地区下水道実施設計業務委託	開削工法　L=1,185m　A=10.79ha
H27	宇美町汚水処理構想見直し及びアクションプラン策定業務委託	下水道全体計画区域　A=1,023ha
H27	三原地区(6)下水道実施設計業務委託	開削工法　L=890m　A=2.31ha
H27	貴船三丁目(2-1)下水道築造工事	Φ200 ㎜　L=178.9m　Φ150 ㎜　L=10.7m 汚水桝 11 箇所　人孔 7 箇所
H28	都市計画道路志免宇美線（表田地区(2)）下水道築造工事	Φ200 ㎜　L=644.3m　Φ150 ㎜　L=16.6m 汚水桝 25 箇所　人孔 22 箇所
H28	畑江地区(1)下水道築造工事	Φ300 ㎜　L=3.4m　Φ250 ㎜　L=64.65m 人孔 3 箇所
H28	畑江地区(2)下水道築造工事	Φ200 ㎜　L=576.6m　Φ150 ㎜　L=69.50m 汚水桝 47 箇所　人孔 14 箇所
H28	赤井手地区下水道実施設計業務委託	開削工法　L=1,233m　A=5.97ha
H29	赤井手地区(1)下水道築造工事	Φ200 ㎜　L=443.5m 汚水桝 24 箇所　人孔 9 箇所

H29	赤井手地区(2)下水道築造工事	Φ200㎜　L=469.0m　Φ150㎜　L=235.7m 汚水桝61箇所　人孔21箇所
H29	県道筑紫野古賀線(桜原一丁目)下水道築造工事	Φ200㎜　L=129.7m 汚水桝2箇所　人孔4箇所
H29	障子岳南三丁目外下水道実施設計業務委託	開削工法　L=3,482m　A=22.26ha

②宇美町公共下水道汚水幹線整備（平成25~27年度実施）

施工年度	名称	概要
H25	宇美汚水幹線(16)築造工事	Φ250㎜　L=174.6m　Φ200㎜　L=66.6m 汚水桝5箇所　人孔11箇所
H25	井野第2汚水幹線(1-3)築造工事	Φ200㎜　L=301.3m 汚水桝2箇所　人孔17箇所
H25	井野第2汚水幹線(2-1)築造工事	Φ250㎜　L=93.5m 人孔3箇所
H25	井野第2汚水幹線（1-1）築造工事	Φ100㎜　L=17.2m（圧送管）
H26	井野第2汚水幹線(2-2)築造工事	Φ250㎜　L=117.0m 人孔2箇所
H26	井野第2汚水幹線(2-3)築造工事	Φ200㎜　L=555.4m　Φ150㎜　L=51.8m 汚水桝30箇所　人孔26箇所
H26	井野第2汚水幹線(1-2)築造工事	Φ100㎜　L=123.59m（圧送管）
H27	井野第2汚水幹線(1-4)築造工事	Φ400㎜　L=91.6m　Φ250㎜　L=13.7m Φ200㎜　L=96.0m　Φ150㎜　L=70.0m Φ100㎜　L=172.2m（圧送管） 汚水桝13箇所　人孔7箇所

7.事業効果の発現状況

計画期間の整備事業の実施により5,251.14mの管渠整備を完了し、15.4haの供用開始を行った。これにより平成29年度末の普及人口は、32,641人となり行政人口に対する普及率は87.4%に達した。

8.評価指標の最終目標値の実現状況

評価指標の普及率は、目標値 90.3%に対し、87.4%となった。 経費削減のため同時施工としていた福岡県の道路事業の進捗の遅れや、事業所の進出計画等の民間の開発計画との調整による整備事業の遅延により、整備事業が計画期間後に延伸されたことから、目標値が達成できなかった。
9.今後の方針
国の指針に従って作成したアクションプランを作成し、交付金の確保に努めているものの、町の財政状況から整備事業は減少し、普及拡大は、遅延傾向にある。 また、行政人口の減少がみられ、経営の安定化のために投資効果を見えた整備地域の選択が必要である。また、ストックマネジメント計画を策定し、実施している施設の維持管理経費も今後の増加が見込まれることから、持続的な事業運営を図るため、整備計画を見直す必要がある。

社会資本総合整備計画事後評価シート

1.計画の名称	宇美町における快適な生活環境の推進（防災・安全）
2.実施主体名称	福岡県　宇美町
3.計画の期間	平成 25 年度から平成 29 年度（5 年間）
4.計画の目標	ストックマネジメント計画を策定し、下水道施設の健全度を計り、維持管理・改築・修繕の最適化を図り、計画的に改築を実施する。 長寿命化計画を策定することにより、下水道施設の健全度を計り、事故の未然防止及びライフサイクルコストの最小化を図る
5.計画の成果目標（定量的指標）	下水道施設のストックマネジメント計画策定率（%） =(策定済計画数(事業計画))/(策定すべき計画数(事業計画)) 平成 29 年度末　100% 下水道施設の長寿命化計画策定率（%） =（長寿命化計画策定済み管路延長(m)）／（施設 30 年経過の HP 管路及び長寿命化計画を策定すべき管路延長(m)） 平成 29 年度末　77.4%

6.社会資本整備総合交付金を充てた要素事業の進捗状況

①宇美町公共下下水道長寿命化計画策定（平成 25～26 年度実施）

施工年度	名称	概要
H25	長寿命化計画策定に伴う宇美町汚水幹線 TV 調査・診断業務委託	調査延長　L=10,883m
H26	宇美町公共下水道(1)長寿命化計画策定業務委託	Φ250～900 ㎜　L=10,883m
H26	長寿命化計画策定に伴う宇美町汚水管渠（ひばりが丘団地他)TV 調査・診断業務委託	管路破損による 2 次災害を未然に防ぐため、管路調査を行う。（ひばりが丘地区 2169.07 m、宇美六丁目地区取付管 1 箇所、平和一丁目地区 779.83m、浦田地区 20.23m及び取付管）

②宇美町公共下水道ストックマネジメント計画策定（平成 28~29 年度実施）

施工年度	名称	概要
H28	宇美町公共下水道ストックマネジメント基本計画(1)策定業務委託	施設の維持管理・改築修繕を計画的に管理していく。A=648.2ha
H29	宇美町公共下水道ストックマネジメント基本計画(2)策定業務委託	施設の維持管理・改築修繕を計画的に管理していく。A=656.9ha
H29	宇美町汚水管渠（ひばりが丘団地外）点検調査業務委託	改築修繕を計画的に管理するための点検調査を実施。目視点検 710 箇所　TV カメラ調査 L=873m

7.事業効果の発現状況

重要度の高い幹線管渠について、TV カメラ調査を実施し、長寿命化計画の策定を行った。調査結果から健全度は高く、長寿命化対策や改築更新と判断される管路はなかった。

ストックマネジメント計画の策定に着手し、基本計画の検討と施設の目視による点検調査を実施した。調査結果から一部ＴＶカメラによる詳細調査を実施したが、重大な損傷はなく、改築更新計画の策定には至っていない。

8.評価指標の最終目標値の実現状況

評価指標におけるストックマネジメント計画策定率は、当町下水道施設について、基本計画を策定し、計画的な点検調査を実施していることから、100％となり、目標値 100％を達成できたと思慮する。

長寿命化計画策定率は、施設の健全度から国が示す長寿命化対策を実施する計画の策定に至らなかったが、対象管渠の調査と診断、計画策定の検討を実施したことから、100％となり、目標値 77.4％を達成できたと思慮する。

9.今後の方針

点検調査の結果から、施設の健全度は比較的高いものの、民間開発団地の施設には、不具合箇所が多く、維持補修の実施は不可欠である。今後もストックマネジメント計画に基づき計画的な点検調査の実施による施設管理を行い、維持補修費用、改築更新需要等の平準化に努め、経営の安定化を図る。また、計画の見直しも定期的に行い、更なる効率化に努める。